

平成30年度決算に係る

定期監査
決算審査
調査書

令和元年7月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書（総括表）	9
8	事業別実施状況調べ	11
9	予備費の充用調べ	18
10	繰越関係調べ	18
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	18
12	収入事務処理状況調べ	18
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	20
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	20
15	税外収入不納欠損額調べ	20
16	債務負担行為の状況調べ	21
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	22
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	27
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	27
19	財産に関する調べ	27
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	30
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	

21	借受不動産明細調べ	3 2
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	3 2
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	寄附物件の受納状況調べ	3 3
24	備品の処分状況調べ	3 3
25	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	3 4
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
26	貸付金等状況調べ	3 4
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	3 4

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
公印亡失について、知事への報告が遅延していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。	再発防止のため、物品照合において確認ができない物品が判明した場合は、速やかに物品亡失報告書により知事へ報告することを所属内で徹底した。

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
社会教育課	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の推進に関すること。 ・社会教育の充実に関すること。 ・情報教育（社会教育に関するものに限る。）に関すること。 ・県立船上山少年自然の家及び県立大山青年の家に関すること。 ・社会教育施設に関すること（他課の所掌に属するものを除く）。 ・社会教育主事の資格認定に関すること。 ・社会教育関係団体に関すること（他課の所管に属するものを除く）。
	生涯学習推進担当	
船上山少年自然の家	指導担当	<ul style="list-style-type: none"> ・主催事業の計画立案・運営に関すること。 ・利用者の安全に関すること ・研修プログラムの開発に関すること。 ・広報・宣伝に関すること。
大山青年の家		

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	31.4.1 現在	30.4.1 現在	31.4.1 現在	30.4.1 現在	31.4.1 現在	30.4.1 現在	31.4.1 現在	30.4.1 現在	
定員	14	14					14	14	社会教育課(8)、船上山(3)、大山(3)
現員	(5) 19	(5) 19	()	()	()	()	(5) 19	(5) 19	・派遣研修専門指導員受入 (船上山、大山各2.5) (H31の派遣元: 鳥取市0.5、米子市0.5、倉吉市1、北栄町1、南部町1、江府町1)
過不足(△)	0	0					0	0	
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	2	2					2	2	・広報専門員(1) ・体験活動指導員 (船上山、大山各0.5)

5 役付職員の調べ

(令和元年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
課長	島田 真紀子	1年 3月	
課長補佐	津村 英樹	3	
船上山少年自然の家所長	桑本 康昭	3	
大山青年の家所長	牧 昭浩	3	

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
インターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業	4,501			4,501
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>インターネット環境の急速な発達により、携帯電話・スマートフォン・ゲーム機等の電子メディア機器はますます子どもたちの生活の中に浸透し、利用の低年齢化も進んでいる。保護者や子どもたちに対し、電子メディア機器とのよりよい接し方(*)について教育啓発を行う。</p> <p>*よりよい接し方…トラブルや犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることのないよう、インターネットの特性を理解し、モラルやマナー等を考えて電子メディア機器を使用する。</p>				
(イ) 事業の実施状況				
鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会事業 (委託先：鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会)		<p>① 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会の開催 電子メディア機器との関わり方やインターネット・スマートフォン利用の教育啓発推進の方向性や施策について検討した。(H30.9.14開催)</p> <p>② 「とっとり子どもサミット～電子メディアとのより良い付き合い方編～」の開催 県内の小中学生が、インターネットとの適切な付き合い方について考えるワークショップを実施した。</p> <p>・開催日、参加者 (東部) 平成30年6月9日(土) 国府町コミュニティーセンター (小学生8名、中学生6名、計14名) (中部) 平成30年6月23日(土) 倉吉体育文化会館 (小学生14名、中学生8名、計22名) (西部) 平成30年7月1日(日) 米子市福祉保健センターふれあいの里 (小学生2名、中学生4名、計6名)</p> <p>③ 「とっとり電子メディアとの付き合い方コンクール」の実施 電子メディア機器利用のルールや関わり方について、地域や学校単位または家庭での実践を募集するコンクールを実施し、④のフォーラムで表彰及び発表を行った。 ・入賞件数 9件(団体の部4件、家庭の部5件)</p> <p>④ 「とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム」の開催 ②の「とっとり子どもサミット」で子どもたちが考え、取り組んだ電子メディア機器とのより良い付き合い方について、参加した大人も一緒に話し合うことで、県内全体に子どもたち主体の取組の啓発を図った。 また、③のコンクールの入賞実践について発表した。</p> <p>・開催日：平成30年12月1日(土) ・会場：ハワイアロハホール ・参加者：336名</p>		

	<p>⑤ 「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の作成・配付 学習ノート（シート）を作成し、子どもたちが主体的に電子メディア機器の使い方を振り返ったり、家庭で話し合っ規則を決めたりする契機とともに、学校における情報モラル教育の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付先：県内小学生～高校生 ・作成部数：72,000部 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> （内訳 学習ノートA（小1～小3対象）18,000部 学習ノートB（小4～小6対象）18,000部 学習シート（中・高校生対象）36,000部 </div> <p>⑥ 大規模商業施設での啓発活動の実施 電子メディア機器と離れた過ごし方の楽しさを伝えるとともに、電子メディアとのより良い付き合い方に関するパネル展示を行い、メディア機器利用のルールについて啓発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年9月24日（月・祝） ・会場：イオン鳥取北店 ・内容：ネット・読書クイズラリー、読み聞かせ、本の貸し出し、積み木 ・参加者：延べ802名
<p>ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業 （委託先：NPO法人こども未来ネットワーク）</p>	<p>① 鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員派遣 PTAや地域等で開催される学習会に講師を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣実績：平成30年度112件 （保育園・幼稚園17件、小学校50件、中学校16件、高等学校7件、特別支援学校1件、地域21件） <p>② 鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員研修 推進員のスキルアップを図る研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成30年5月13日（日）、8月17日（金）・30日（木）、11月29日（木） ・参加者 延べ34名 <p>※推進員：31人（平成30年度末）</p>
<p>情報教育サポーター活用事業</p>	<p>学校における情報モラル教育を支援するため、情報モラル教育に精通したサポーターを派遣し、学校における情報モラル教育と教員の指導力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣実績：平成30年度22件、平成29年度10件
<p>教職員情報モラル教育研修会</p>	<p>教職員の情報モラルに関する授業内容の充実を目的とした研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成31年2月4日（月）、5日（火）、7日（木） ・参加者：19名

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・とっとり子どもサミットを東部・中部・西部の3会場での開催とし、より多くの児童・生徒が参加できるようにした。
- ・とっとり電子メディアとの付き合い方コンクールにおいては家庭の部を設け、各家庭の取組を募集・表彰した。
- ・電子メディアとの付き合い方学習ノート（シート）の内容を見直し、学校における情報モラル教育の更なる充実を図るとともに、家庭での話し合いの契機とした。
- ・小中学校の情報教育担当教員が集まる会において情報教育サポーターや学習ノートの紹介と活用を呼びかけた。
- ・教職員への情報モラル研修において、国・県の児童・生徒の実態を伝えるとともに、教員がすぐに実践できる教材の提供を行った。

ウ 成果及び効果

- ・とっとり子どもサミットでは、小中学生が他校の児童生徒や年代の違う大学生とともに電子メディア機器の使用における様々な考え方や取組について話し合ったことで、今後の自分の電子メディア機器の使い方を改めていこうとする態度が見られた。また、話し合った内容をとっとり電子メディアとの付き合い方フォーラムにおいて発信し、子ども

たち主体の取組を県内全体に広げていく一助となった。

- ・大型商業施設での啓発活動において、ネット・読書クイズラリーや積み木など、家族で協力して取り組める内容を盛り込んだことで、より多くの家庭への啓発につながった。
- ・ケータイ・インターネット教育推進員については、全国的に動画投稿サイトの利用やオンラインゲームの利用が広がっており、低年齢の子どもがそれらに接する機会が増えるという危惧から保育園・幼稚園や小学校からの派遣依頼が多くあり、保護者の意識醸成につながった。
- ・電子メディアとの付き合い方学習ノート（シート）について、学校で学習ノートで把握した各家庭の状況により、学級懇談や学級通信等を通して実態に応じた啓発につなげている例がみられた。

エ 課題

- ・子どもサミットやフォーラムの実施により、子どもたち主体で電子メディアとのよりよい付き合い方について考え、それを広める取組を行ったが、一過性のものとせず、今後も電子メディアとのよりよい付き合い方についてより広く啓発する方策を検討する必要がある。
- ・電子メディア機器利用が低年齢化していることから、就学前の子どもを有する保護者、出産前保護者に対し、引き続き啓発していく必要がある。
- ・電子メディア機器の長時間利用によるネット依存傾向やSNS等の利用による人間関係のトラブルを未然に予防するための効果的対策について検討するため、本県の児童生徒の実態把握が必要。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
本の大好きな子どもを育てるプロジェクト	1,040			1,040
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
子どもたちがより効果的に図書との関わりを持つための取組として、読書ボランティアの育成、子ども読書アドバイザーの派遣や児童・生徒の読書推進の啓発など、子どもの読書活動を推進するための事業を展開する。				
(イ) 事業の実施状況				
区分	内容			
子ども読書アドバイザー派遣事業	子ども読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。 ・派遣件数：17件（読み聞かせボランティア、保護者、子育て支援者等への研修15件、主に生徒への研修2件） ・アドバイザー：40人（平成30年度末）			
子ども読書アドバイザー研修会	子ども読書アドバイザーとして活動するにあたっての基本的なスキルアップを図るとともに、アドバイザー間の意見交換を行った。 ・開催日：平成30年7月28日（土） ・会場：倉吉未来中心 ・参加者：50名 ・内容：講演①「読み聞かせのはじめの一步はわらべうたから」 講演②「読み聞かせの楽しさ」 （講演①②とも 講師：石川 道子氏（おはなしアンサンブル））			
本でつなぐわたしたちの未来プロジェクト～中学生ポップコンテスト～	読書離れが顕著になる中学生に本を読むことの意義を伝える体験を提供するため、中学生ポップコンテスト（推薦図書枠、自由図書枠）を実施した。 （推薦図書枠は、中学生憧れの職業に就く方の推薦する本を読み、その魅力をポップにし応募する。⇒優秀なポップの応募者は本の推薦者に夢を叶えるための努力の大切さ、厳しさや読書の意義等のインタビューを行った。） ・募集期間：平成30年8月1日（水）～9月28日（金） ・応募作品総数：870点 ・優秀賞：推薦図書枠10点、自由図書枠10点 ・本の推薦者と推薦図書			
	本の推薦者	図書名・著者		
	黒田志保子さん （児童文学作家）	「水底の棺」中川なをみ 「風にのってきたメアリーポピンズ」P. L. トラヴァーズ		
	小谷真之介さん （グラフィックデザイナー）	「アミ 小さな宇宙人」エンリケ・バリオス 「自分の仕事をつくる」西村佳哲		

<p>ビブリオバトル実施支援事業</p>	<p>県内各学校にビブリオバトルに関する専門知識を有する支援者（大学生）を派遣し、ビブリオバトル実施支援を通して子どもの読書活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数 8校（小学校3、中学校3、義務教育学校1、高等学校1）、11回 <p>※ビブリオバトル</p> <p>書評合戦。4～5人が本を持ち寄り、その本の面白さについて5分程度プレゼンテーションし、それを聞いた参加者が一番読みたいと思った本を投票で決定する書評会。2007年ごろ京都大学で発祥し、近年広がりを見せている。</p>
<p>鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第4次計画）の策定</p>	<p>「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、2019年度からおおむね5年間の子どもの読書活動の推進に関する施策の基本的な方向性や具体的取組を示した「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第4次計画）」を平成31年3月に策定した。</p> <p>《ビジョン概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方 （策定趣旨、期間、子どもの読書活動の意義、国の動向、県内の取組） ・第3次計画期間の成果と課題 （家庭における読み聞かせの増加、読書の二極化傾向、インターネット利用との関係等） ・推進のための具体的方策 （家庭・地域・学校における読書活動の推進、読書活動を支える人の育成、啓発・広報） ・方策の効果的な推進に必要な事項 （県・市町村の推進体制の整備、民間団体等との連携協力の促進）

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・子ども読書アドバイザー研修会について、講演会だけではなく参加型の内容も設けることで参加者のスキルアップにつながった。
- ・ビブリオバトルについて教育委員会の広報紙に掲載し、その名称や取組について学校・児童生徒・保護者に周知を図った。

ウ 成果及び効果

- ・中学生ポップコンテストは、平成30年度はやや減少したものの多数の応募があり、夏休み期間の取組として定着してきている。

《応募件数》

H30	870点
H29	1,170点
H28	952点

- ・ビブリオバトル実施支援先が増加し、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校と幅広い校種に広がりが見られた。児童生徒がビブリオバトルのデモンストレーションを見学するという受け身の学習のみならず、国語科の学習や学園祭などでビブリオバトルが行われるようになるなど、学校現場において読書の幅を広げていくための手法のひとつとして認識されつつあるものと考えられる。
- ・「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン」第4次計画を策定し、今後おおむね5年間の本県における読書推進施策等の方向性や取組を示した。

エ 課題

- ・鳥取県子どもの読書活動推進ビジョンの改定にあたりH29に実施した「子どもの読書活動に関するアンケート」からは、学年が上がるにつれて不読率が上昇し、全国平均ほどではないものの高校生の不読率が高い傾向がある。
- ・中学生、高校生の読書離れの対策として、幼いころから発達段階に応じた読書習慣の形成を支援していくことが重要であり、特に読書（読み聞かせ）に興味のない層への働きかけのほか、読み聞かせの大切さについて妊娠期も含めた乳幼児保護者への啓発が重要となる。
- ・インターネット、電子メディア機器・電子書籍の普及とその利用の低年齢化に伴い、電子書籍も含めた読書に関する方向性の検討が必要である。
- ・子ども読書アドバイザーの派遣件数が減少の傾向にあることから、改めて関係機関に周知を図り、活用を促進する。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	195			195
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (3) エコスタイル ① 豊かな森や里山資源の活用			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>自然体験活動は、青少年の生きる力を育むために大切な活動であるが、家庭環境の違い等によって経験に差が生じている。格差是正の一助として、児童養護施設や母子生活支援施設と県立青少年社会教育施設等が連携し、入所者の希望や課題意識に応じた自然体験活動を検討し、実施する。</p> <p>(※国立青少年教育振興機構の事業を活用し、機構事業の対象外となる活動にかかる経費を本事業で支出)</p>				
(イ) 事業の実施状況				
	区分	内容		
	自然体験活動の実施	<p>実施日：平成30年7月25日(水) ほか計8回 参加施設：8施設(施設内の各ホームも施設数としてカウント) 参加人数：合計123人(児童・生徒70人、保護者7人、職員46人) 実施場所：県立船上山少年自然の家、県立大山青年の家、空山ポニー牧場 実施内容：県立施設等の指導員の指導・助言により、日帰りあるいは1泊2日の日程で自然体験活動を行った。 (主な活動内容) 野外炊飯、クラフト、自然散策、スキー、大山登山、引馬乗馬体験 等</p>		
	報告会の実施	<p>各施設で行った活動内容等を発表する事例検討の場を設け、今後の活動等を検討した。 実施日：平成31年3月5日(火) 参加者：平成30年度実施7施設、次年度以降実施検討施設2施設の職員計9人、社会教育課2人 実施場所：中部総合事務所</p>		
イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
平成30年度に実施しなかった施設等にもさらに活動機会を広げるよう、年度末に意見交換の場を設けた。				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外炊飯やスキー等初めて行う子どももあり、子どもたちの体験の幅が広がった。 ・ 活動費を助成することで、多くの子どもが参加できた。 ・ 自然体験活動をとおして、コミュニケーション力の向上や仲間意識の育成につながった。 ・ 普段接する施設の大人以外の大人(青少年社会教育施設指導員等やインストラクター等)との関わりや集団宿泊活動で、ルールやマナーを学ぶことができた。 ・ 平成30年度に初めて参加する施設もあり、体験活動の裾野が広がった。 				
エ 課題				
平成30年度未参加施設へ情報提供を行うなど、自然体験活動推進の啓発の継続が必要である。				

7 決算調書

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算額			現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠損 額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳入	教育使用料	513,000	0	0	513,000	0	513,000	547,650	547,650	0	0	
	行政財産使用料	83,000	0	0	83,000	0	83,000	112,050	112,050	0	0	
	教育費国庫補助金	1,637,000	△400,000	0	1,237,000	0	1,237,000	940,154	940,154	0	0	
	雑入	12,000	△1,000	0	11,000	0	11,000	338,270	338,270	0	0	
	教育債	38,000,000	△3,000,000	(6,000,000)	(6,000,000)	(6,000,000)	(6,000,000)	(3,000,000)	(3,000,000)	0	0	
	繰越金	0	0	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	38,000,000	38,000,000	0	0	
				(578,000)	(578,000)	(578,000)	(578,000)	(578,000)	(578,000)	0	0	
				578,000	578,000	578,000	578,000	578,000	578,000	0	0	
				(6,578,000)	(6,578,000)	(6,578,000)	(6,578,000)	(3,578,000)	(3,578,000)	0	0	
		合計	40,245,000	△3,401,000	6,578,000	43,422,000	6,578,000	40,516,124	40,516,124	0	0	

(単位：円)

一般会計（歳出）

区分	科目	予			算			現			決算額	決算額の内訳		翌年度繰越額C	差引増減額A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計A	B	本庁	出納機関							
歳出	社会教育総務費	23,774,000	△340,000	0	174,219	23,608,219	21,792,433	20,880,240	912,193	0	1,815,786					
	青少年社会教育施設費	83,332,000	△1,180,000	(6,578,000)	△139,219	88,590,781	(4,249,800)	81,065,390	(4,249,800)	0	(2,328,200)					
	生涯学習センター費	126,101,000	△3,100,000	0	△35,000	122,966,000	122,706,460	86,828,860	35,877,600	0	259,540					
	合計	233,207,000	△4,620,000	(6,578,000)	0	235,165,000	(4,249,800)	188,774,490	(4,249,800)	0	(2,328,200)					
				6,578,000	0	229,814,083	188,774,490	41,039,593			5,350,917					

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額	補正 予算額	支出済額	翌年度 繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用品額									
(目名) 社会教育総 務費		(835,484)			195,338	(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の開催 会議の内容									
社会教育企 画費	8,013,000	0	8,653,146			<table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>会場</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年 12月11日</td> <td>県立倉吉 体育文化 会館</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の手引きについて 社会教育関係団体への補助金について 体験活動の推進について 地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的な取組について </td> </tr> <tr> <td>平成31年1 月25日</td> <td>県立倉吉 体育文化 会館</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運 動推進事業の事業計画 地域学校協働活動について 社会教育委員の手引きについて </td> </tr> </tbody> </table>	期日	会場	内容	平成30年 12月11日	県立倉吉 体育文化 会館	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の手引きについて 社会教育関係団体への補助金について 体験活動の推進について 地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的な取組について 	平成31年1 月25日	県立倉吉 体育文化 会館	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運 動推進事業の事業計画 地域学校協働活動について 社会教育委員の手引きについて
期日	会場	内容													
平成30年 12月11日	県立倉吉 体育文化 会館	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の手引きについて 社会教育関係団体への補助金について 体験活動の推進について 地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的な取組について 													
平成31年1 月25日	県立倉吉 体育文化 会館	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運 動推進事業の事業計画 地域学校協働活動について 社会教育委員の手引きについて 													
(2) 各種研修派遣															
	研 修 会 名	派 遣 人 数	派 遣 先	派 遣 期 間											
	第41回中国・四国地 区社会教育研究大会 高知大会	1名	高知会館、高知県民 文化ホール	H30.11.1 4～11.15											
	第60回全国社会教 育研究大会青森大会	1名	リンクステーション ホール青森(青森市 文化会館)	H30.10.2 4～10.25											
()は、とっとり県民カレッジ事業他から流用															

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用品額
(主) インターネットと適切な接し方教育啓発推進事業	4,731,000	0	4,500,680		230,320	
青少年ふりやア教育活性化事業	291,000	0	223,000		68,000	昨年度に引き続き、高校生・青年層を対象にふるさと教育・キャリア教育に取り組む2つの団体への活動費の助成を通じ、地域の若者の活動の活性化や地域をリードする人材の育成を図ることができた。地域において高校生をはじめとする若者の活動の活性化を目指す県内団体の交流を目的とした実践交流会の開催や県社会教育振興大会における2つの補助団体の成果発表を通して、県内団体のネットワークの拡大、さらに県内の社会教育関係者同士で地域における青少年活動の活性化や若者の人材育成について考えることができた。
県市町村社会教育振興事業	954,000	(1,460)	955,460		0	地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、市町村、公民館等の社会教育関係者の各種研修会や、共同研究協議会等の実施、社会教育主事の養成をした。 (1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実施 (2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成 (3) 社会教育主事養成 社会教育主事に必要な専門的知識、技能を修得させ、資格を付与することとを目的とした社会教育主事講習Bをインタネットを活用して、鳥取県内で受講できるようになり、県や市町村教育委員会事務局職員、公民館職員等教育関係者の社会教育主事資格取得を支援した。

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用品額
						【社会教育主事講習B（鳥取会場）】
						日時 平成31年1月21日（月）～2月27日（水）まで
						場所 琴浦町生涯学習センター
						内容 ○生涯学習概論 ○社会教育計画 ○社会教育特講 ○社会教育演習 ・宿泊研修2泊3日（大山青年の家） ・現地研修（岩美町教育委員会、岩美町立浦富地区公民館、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館） ・社会教育計画作成演習
						受講者 12名（全科目受講は5名。複数年での受講者7名。）
社会教育関係団体等による地域づくり支援事業	4,876,000	0	4,396,320		479,680	() は児童養護施設等と連携した自然体験推進事業より流用 社会教育関係団体等が持っている教育力を活用し、健やかな子どもが育つ地域づくりを促進するとともに、各団体の人材育成等を図るため、全県的な組織を有し、県の施策に合致した活動を展開している公共性のある社会教育関係団体を対象として、人材育成、指導者養成の経費について助成し、地域の教育力の向上と本県の生涯学習の推進を図った。 (県連合青年団、ガールスカウト鳥取県連盟、日本ボーイスカウト鳥取連盟、県子ども会育成連絡協議会、県連合婦人会)
とっとり県民力レジェンド事業	2,060,000	(△43,075) 0	1,829,561		187,364	市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会を提供した。 (1) 未来をひらく鳥取学

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用額																																					
(主) 本の大好きな子どもを育てるプロジェクト	1,555,000	(△50,000) △340,000	1,039,366		125,634	<p>① 通常講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催テーマ</th> <th rowspan="2">受講者数 (人)</th> <th colspan="3">受講者</th> </tr> <tr> <th>講演会</th> <th>実践発表</th> <th>グループワーク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域と若者</td> <td>96</td> <td>39</td> <td>29</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>130</td> <td>44</td> <td>49</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>226</td> <td>203</td> <td>95</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 特別講座 (県内大学と連携実施)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>受講者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>公立鳥取環境大学</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>鳥取短期大学</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>鳥取看護大学</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>米子高専</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>325</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 連携講座 124機関 2,061講座 () は社会教育企画費へ流用 () は社会教育企画費へ流用</p>	開催テーマ	受講者数 (人)	受講者			講演会	実践発表	グループワーク	地域と若者	96	39	29	28	ボランティア	130	44	49	37	計	226	203	95	69	大学名	受講者数 (人)	鳥取大学	82	公立鳥取環境大学	45	鳥取短期大学	63	鳥取看護大学	113	米子高専	22	計	325
	開催テーマ	受講者数 (人)	受講者																																								
講演会			実践発表	グループワーク																																							
地域と若者	96	39	29	28																																							
ボランティア	130	44	49	37																																							
計	226	203	95	69																																							
大学名	受講者数 (人)																																										
鳥取大学	82																																										
公立鳥取環境大学	45																																										
鳥取短期大学	63																																										
鳥取看護大学	113																																										
米子高専	22																																										
計	325																																										

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用品額
(主) 児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	1,294,000	(△569,650) 0	194,900		529,450	(不用品の理由) 国立青少年教育振興機構事業が不採択の可能性もあったため県事業で要求していたが、機構事業が採択となり、機構事業対象外の経費のみの執行となった。 () は 県市町村社会教育振興事業費等へ流用
目 計	23,774,000	(174,219) △340,000	21,792,433	0	1,815,786	
(目名) 青少年社会教育施設費						
船上山少年自然の家運営費	40,343,000	(△383,997) 0	39,696,287		262,716	船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。 ・指定管理者(H28~H30) T K S S ・富士総合警備保障共同企業体 ・管理委託費 37,375,000円 (1) 年間受入者数 日帰り12,101人 宿泊12,431人 計24,532人 (2) その他施設修繕等 (3) 主催事業の実施状況 ちっちゃい体験隊等24事業 2,935人((1)の内数) () は社会教育企画費へ流用
大山青年の家運営費	39,714,000	(439,845) △380,000	39,488,794		285,051	大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。 ・指定管理者(H28~H30) (公財)鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 36,839,000円 (1) 年間受入者数 日帰り13,172人 宿泊17,552人 計30,724人 (2) その他施設修繕等 (3) 主催事業等の実施状況 春の親子フェスティバルなど26事業 2,192人((1)の内数) () は鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業等から流用

事業名	当初予算額	補正予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果・不用品額
鳥取県の美しい星空環境を活かした体験活動等推進事業	3,275,000	(△)195,067 △800,000	1,880,309	0	399,624	鳥取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会の実施や移動式プラネタリウムの実施等、星空環境を活用した教育の機会を提供した。 (1) 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業（船上山少年自然の家、大山青年の家の各指定管理者に委託） 主催事業：10事業 受入団体：7団体 (2) 県立青少年社会教育施設機器整備事業 天体望遠鏡、双眼鏡、星座早見盤を購入 (3) 移動型プラネタリウム実施事業（船上山少年自然の家、大山青年の家の各指定管理者に委託） 主催事業：6事業 受入団体：1団体 (4) 星空映像コンテンツ実施工業 表彰式：平成30年12月23日（日・祝） 表彰者：各部門ごとに最優秀賞1名（団体）、優秀賞2名（団体） 応募作品数：34点（小学生部門5点、中学生部門12点、高校生部門17点） （ ）は大山青年の家運営費へ流用
青少年社会教育施設改善充実事業	(6,578,000) 6,578,000	0	(4,249,800) 4,249,800	0	(2,328,200) 2,328,200	船上山少年自然の家バリアフリー化改修工事を行った。 (不用品の理由) 入札執行残による
目 計	(6,578,000) 89,910,000	(△)139,219 △ 1,180,000	(4,249,800) 85,315,190	0	(2,328,200) 3,275,591	

(目名) 生涯学習センター費	87,123,000	(△35,000) 0	86,828,860	259,140	生涯学習センターの管理運営を指定管理者により行った。 ・指定管理者 (H26～H30) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 86,419,000円 ・傘立て等を購入した。 () は社会教育企画費へ流用
生涯学習センター改修費	38,978,000	△3,100,000	35,877,600	400	非常用自家発電設備更新工事を行った。
目計	126,101,000	(△35,000) △3,100,000	122,706,460	259,540	
合計	(6,578,000) 239,785,000	(4,249,800) △4,620,000	(4,249,800) 229,814,083	(2,328,200) 5,350,917	

9 予備費の充用調べ
該当無し

10 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ
該当無し

(2) 繰越明許費調べ
該当無し

(3) 事故繰越調べ
該当無し

11 収入証紙取扱額調べ
該当無し

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当無し

(2) 使用料

(単位：円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節 細節							
教育使用料	社会教育施設使用料	10	547,650	547,650	0	0	鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例	
	計(節)	10	547,650	547,650	0	0		
	本庁執行分計(目)	10	547,650	547,650	0	0		
	出納機関執行分計(目)	0	0	0	0	0		
	目計	10	547,650	547,650	0	0		
行政財産使用料	行政財産使用料	88	112,050	112,050	0	0	行政財産使用料条例	
	計(節)	88	112,050	112,050	0	0		
	本庁執行分計(目)	88	112,050	112,050	0	0		
	出納機関執行分計(目)	0	0	0	0	0		
	目計	88	112,050	112,050	0	0		
	合計	98	659,700	659,700	0	0		

(3) 手数料
該当無し(4) 財産収入
該当無し

(5) 寄付金
該当無し

(6) 諸収入 (単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		船上山少年自然の家 複写機利用分	3	215,703	215,703	0	0		
		大山青年の家複写機 利用分	3	83,239	83,239	0	0		
	雑入	普通旅費過年度返納分	1	27,460	27,460	0	0		
		非常勤職員雇用保険料	22	11,868	11,868	0	0		
		本庁執行分計(目)	29	338,270	338,270	0	0		
		出納機関執行分計(目)		0	0	0	0		
		目計		338,270	338,270	0	0		
		合計		338,270	338,270	0	0		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況
該当無し

イ つり銭の状況
該当無し

13 税外収入未済額調べ
該当無し

14 未収金回収促進のための取組状況調べ
該当無し

15 税外収入不納欠損額調べ
該当無し

16 債務負担行為の状況調べ

(単位：円)

事業名	種別	設定状況			当該事業の契約 額等	執行(支出)状況					備考	
		議決 (補正・当初の別)	期間	限度額		設定年度 の執行額 A	債務負担行為の期間					合計 A+B
							29年度までの 執行額	30年度執行額	31年度以降の 執行予定額	計 B		
鳥取県立生涯 学習センター 管理委託	委託 料	平成25年3月 (平成26年3月 変更議決)	26年度から 30年度まで	432,095,000	0	345,676,000	86,419,000	0	432,095,000	432,095,000		
鳥取県立船上 少年自然の家 管理委託	委託 料	平成27年6月	28年度から 30年度まで	110,100,000	0	73,064,000	37,375,000	0	110,439,000	110,439,000		
鳥取県立大山 青年の家管理 委託	委託 料	平成27年6月	28年度から 30年度まで	110,016,000	0	73,344,000	36,839,000	0	110,183,000	110,183,000		
鳥取県立生涯 学習センター 管理委託	委託 料	平成30年3月 (当初)	H31年度か らR5年度ま で	461,759,000	0	0	0	461,759,000	461,759,000	461,759,000		
鳥取県立船上 少年自然の家 管理委託	委託 料	平成30年3月 (当初)	H31年度か らR5年度ま で	200,210,000	0	0	0	200,100,000	200,100,000	200,100,000		
鳥取県立大山 青年の家管理 委託	委託 料	平成30年3月 (当初)	H31年度か らR5年度ま で	190,867,000	0	0	0	190,867,000	190,867,000	190,867,000		
	合 計			1,505,047,000	0	492,084,000	160,633,000	852,726,000	1,505,443,000	1,505,443,000		

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 領等を含む。)	備考
社会教育総務費	1,670	単県	とっとり県民カレッジ 主催講座「未来をひら く鳥取学」(6/24)で の講師に係る経費 (高速料金)	講師所属の特定非 営利活動法人		H30.7.25	1,670		
新規以外のもの							84,000		
本庁執行分計							85,670		
出納機関執行分計							0		
目計							85,670		
合計							85,670		

(2) 補助金

予算科目 (社会教育総務費)

①国 補 分

該当なし

②単 県 分

(単位 : 円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	事業の内容	交付先	間接	補助対象 経補 及補	実施計画承認 は日 請日 定日	着 年 完 年 実 績 報 告 日	手 日 了 日 告 日	額 年 検 年 審 査 ・ 現 地 調 査 年 月 日	支出の状況			備 考
									概算 の別	支 出 年 月 日	金 額	
鳥取県社会教育団体補助金 (H23)		鳥取県連合青年 団長 外4件		5,419,729 (補助率: 1/2,10/10) 2,530,320	H30.3.23 H30.4.12他 H30.4.27他	- H31.4.12他	- H31.4.28他	H31.4.24	概算 戻入 戻入 戻入 戻入	H30.5.28 外4件 H31.4.26 H31.4.26 H31.5.13 H31.5.22	3,010,000 △ 5,744 △ 290,081 △ 61,723 △ 122,132	
平成30年度第17回日本スカウトジャンボ リー派遣費補助金 (H30)		日本ボーイスカ ウト鳥取連盟		4,678,685 (補助率:1/2) 1,866,000 201,203	H30.3.23 H30.4.13 H30.5.17 H30.4.23	- H31.2.22	- H31.2.22他 H31.3.15 外	H31.4.9	概算	H30.7.2	1,866,000	
青少年ふるさとキャリア教育活性化事業補 助金 (H28)		南部町高校生 サークルWith you翼 外1件		(補助率:10/10上 限100千円) 200,000	H30.5.14 外 H30.5.16 外	- H31.1.11 外	- H31.1.11 外	H31.1.11 外	概算	H30.6.5 外1件	200,000	

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	事業の内容	交付先	間接	補助対象 経補及補助金額	実施計画承認 又は交付年月日	着年月日	手続完了年月日	額の年月	額の確定年月日	支出の状況			備考
										概算 精算の別	支出 年月日	金額	
鳥取県社会教育協議会補助金(S41)		鳥取県社会教育 協議会会長		520,514 (補助率:定額)	H30.3.23	-	H31.4.10						
県社会教育協議会の事務局費、会議費、全国大会等派遣費、県公民館連合会交付金に対する助成				200,000	H30.5.7	-	H31.4.8					200,000	
本庁執行分計												4,796,320	
出納機関執行分計												0	
単 県 分 計												4,796,320	

(2-2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

予算科目

① 国 補 分
該 当 な し

② 単 県 分
該 当 な し

(3) 交 付 金
該 当 な し

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国 庫 単 位 の 別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初契約			完了年月日		支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日)契約額	契約期間	入札等 年月日 (契約保証 金納付等 年月日)	完了 年月日	支出 区分	支出 年月日	金額	
社会教育総務費	単 県	平成30年度ケータイン ターネット教育啓発講師派 遣事業委託	特定非営利活動法 人子ども未来ネット ワーク	()	()							
				2,199,000	(H30.4.1) 2,188,670	H30.4.1 H31.3.31	H30.3.23 (免除)	H31.3.31 H31.4.10	概算 戻入	H30.4.25 他 H31.5.8	2,188,670 △ 70,651	随意契約理由:メディア全般をはじめ、ケータイン ターネットに特化した内容の学習会のノウハウを教 し、学習教材及び人材、ネットワークを生かせる県内 唯一の団体であるため。
社会教育総務費	単 県	平成30年度ケータイン ターネット教育啓発推進事 業委託	ケータインター ネット教育啓発推 進協議会	()	()							
				1,887,000	(H30.4.2) 1,887,000	H30.4.2 H31.3.31	H30.3.15 (免除)	H31.3.26 H31.3.27	概算 戻入	H30.4.27 H31.4.10	1,887,000 △ 121,244	随意契約理由:ケータインターネットに関する教育 啓発の推進を図っている団体であり、教育啓発のノ ウハウを熟知し、本事業を組織的・計画的に全県展 開できる唯一の団体であるため。
上記の他契約金額が2 50万円未満のもの												
本庁執行分計												503,840
出納機関執行分計												4,387,615
目計												0
青少年社会教育施設費	単 県	平成30年度船上山少年自 然の家指定管理料	TKSS・富士総合警 備保障共同企業体	()	()							
				110,100,000	(H28.3.24) 109,596,000	H28.4.1 H31.3.31	H27.12.22 (一)	H31.3.31	前金	H30.4.9 他	37,375,000	鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続 等に関する条例に基づき管理指定 ・入札等年月日には、条例第7条の指定した日を記 入
青少年社会教育施設費	単 県	平成30年度大山青年の家 指定管理料	公益財団法人鳥取 県教育文化財団	()	()							
				110,016,000	(H28.3.24) 110,016,000	H28.4.1 H31.3.31	H27.12.22 (一)	H31.3.31	前金	H30.4.9 他	36,839,000	鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続 等に関する条例に基づき管理指定 ・入札等年月日には、条例第7条の指定した日を記 入
上記の他契約金額が2 50万円未満のもの												
本庁執行分計												2,201,426
出納機関執行分計												76,415,426
目計												0
目計												76,415,426

予算科目 (目)	国補 単果 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約期間			支出 年月日	金額		
					(契約年月日) 契約額	変更契約(最終)					
生涯学習センター費	単果	平成30年度鳥取県立 生涯学習センター指定管理 料	公益財団法人鳥取 県教育文化財団	432,095,000 (H26.3.11)	H26.4.1 ~ H31.3.31	H31.3.31 R1.7.9	前金 他	H30.4.6	86,419,000	鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続き 等に関する条例に基づき管理指定 ・入札等年月日には、条例第7条の指定した日を記 入	
上記の他契約金額が2 50万円未満のもの									86,419,000		
本庁執行分計									0		
出納機関執行分計									86,419,000		
目計									167,222,041		
合計											

(4-2)委託料(他課から予算の配当替を受けて執行したもの)

予算科目 (目)	国補 単果 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約期間			支出 年月日	金額		
					(契約年月日) 契約額	変更契約(最終)					
教育財産管理費	単果	県立生涯学習センター非常用発 電設備委託業務	(株)山陰ティール商 事	1,600,000 (H31.3.19)	H31.3.19 ~ H31.3.29	H31.3.28 H31.3.29	精算	H31.4.26	1,587,600	随筆契約理由 ・県立生涯学習センター非常用発電設備は、ヤンマー製の発電 機であり、ヤンマーの特約店でなければ修繕等が行えない。 ・山陰県内でヤンマーの特約店は(株)山陰ティール商事 のみであり、また現在の発電設備の納品も(株)山陰ティール 商事が行った。	
上記の外、契約額が250万円 未満のもの									678,240		
本庁執行分計									2,265,840		
出納機関執行分計									2,265,840		
目計									2,265,840		
合計									2,265,840		

(単位:円)

18 工事請負費調べ

(単位:円)

予算科目 (目)	国補単位の別	工事名	当初契約		工 期	入札年月日 (契約締結金 納付等年月日)	請負人	支出状況			変更 (解)の理由 ・内容	実地完成 年月日 検査 年月日	備 考
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額				支 出 区 分	年 月 日	金 額			
青少年社会教育施設費			()	()	~	()				0			
本庁執行分計										4,249,800			
出納機関執行分計										4,249,800			中部総合事務 所執行
目 計			()	()	~	()							
生涯学習センター費			()	()						0			
本庁執行分計										35,877,600			
出納機関執行分計										35,877,600			東部建築住宅 事務所執行
目 計			()	()									
合 計										40,127,400			

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)
該当なし

19 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(平成31年3月31日現在)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備 考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	大山青年の家	西伯郡太山町赤 松明間原312-1	95,559.00	45,739,686	H					95,559.00	45,739,686	
					減少							
	生涯学習セン ター	鳥取市厨町21	4,271.41	不明	H					4,271.41	不明	
					減少							
計			99,830.41	45,739,686		0	0		99,830.41	45,739,686		
普通財産			0.00		H					0.00	0	
					減少							
				0.00		H				0.00	0	
						減少						
計			0.00	0		0	0		0.00	0		
合計			99,830.41	45,739,686		0	0		99,830.41	45,739,686		

イ 建物

(平成31年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	船上山少年自然の家	東伯郡桑浦町山川1807-2	3,667.93	467,709,243	H				H	3,667.93	467,709,243	
			減少		H				H			
行政財産	大山青年の家	西伯郡大山町赤松明間原312-1	3,959.61	491,673,525	H				H	3,959.61	491,673,525	
			減少		H				H			
計	生涯学習センター	鳥取市扇町21	497,544	985,695,493	H				H	497,544	985,695,493	
			減少		H				H			
計			12,602.98	1,945,078,261		0	0			12,602.98	1,945,078,261	
普通財産					H				H	0.00	0	
計					H				H	0.00	0	
合計			12,602.98	1,945,078,261		0	0			12,602.98	1,945,078,261	

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却等
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況
該当なし

(イ) 出願及び登録の状況
該当なし

(ウ) 活用の状況
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利
該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成31年3月31日現在)

種別	前年度末 円	本年度中		本年度末 円	備考
		受入額 円	払出額 円		
郵便切手及び 郵便はがき	73,458	21,054	25,966	68,546	
合計	73,458	21,054	25,966	68,546	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成31年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末 108枚	備考
	購入枚数 120枚	使用枚数及び金額 18枚 23,400円		
6枚				

(3) 基金
該当なし

(4) 債権

(平成31年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増 金額	減 金額	件数	金額	金額	件数	
行政財産使用 料 円	65,090	6		18,050	1	47,040		5	
						0		0	
						0		0	
合計	65,090	6	0	18,050	1	47,040		5	

2.0 財産の貸付及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

了 土 地

行政・普通財産の区分	貸付目的 (使用許可)	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電力供給配電線支持物設置	鳥取市扇町21 (生涯学習センター)	コンクリート柱 1本	H30.3.27		H30.4.1 ~ H35.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	生涯学習センター	
	"	鳥取市扇町21 (生涯学習センター)	電柱1本 支線1条	H27.3.17	H12.9.18	H27.4.1 ~ H32.3.31	月額・年額 3,000	3,000	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	生涯学習センター	
	"	鳥取市扇町21 (生涯学習センター)	共架線 (電柱1本)	H29.2.2		H29.4.1 ~ H34.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支社所長	生涯学習センター	
	"	鳥取市扇町21 (生涯学習センター)	共架線 (電柱1本)	H29.3.2		H29.4.1 ~ H34.3.31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市富安2-137 日本海ケーブルネットワーク(株)代表取締役社長	生涯学習センター	
	"	西伯郡大山町赤松明間 原312-1 (大山青年の家)	電柱8本 支線3条	H29.3.22		H29.4.1 ~ H34.3.31	月額・年額 9,680	9,680	米子市加茂町二丁目51番地 中国電力(株)米子営業所長	大山青年の家	
	"	西伯郡大山町赤松明間 原312-1 (大山青年の家)	電柱1本 ケーブル1条	H26.1.19		H26.4.1 ~ H31.3.31	870	870	広島市中区大手町二丁目11-10 (株)エヌケー7・コミュニケーション信技術本部長	大山青年の家	
計							18,050				
普通財産											
計											
合計								18,050			

イ 建物
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のも及び寄附受納時の評価額が100万円以上のも)

(平成31年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
綴帳	1	フック刺しゅう巾14.8m× 高さ5.5m	H26.4.1 ～ H31.3.31	無料	無料	鳥取市扇町21番地 (公財)鳥取県教育文化財団理事 長	生涯学習センター	施設の管理運営に供 するため	
グラウンドピアノ	1	ヤマハCF	H26.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
16ミリ映写機	1	エイキEX-9000NO.90 67	H26.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
デジタル印刷機	1	リソグラフ RZ670	H26.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
キセノンピンスポットライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL-1003SR/e	H26.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	H28.2.16 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
ポーターライト	1	150W/ハロゲン×63灯 上下・中区分=12.6m	H29.7.31 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
除雪機	1	フジSD1123DK2	H28.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	大山青年の家	"	
絵画	1	油絵60号額縁付き「漂流」	H28.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
公用車	1	セレナ AT 4WD	H28.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
エルネット受信システム	1	TA-CSH575S,TD- MD100G,D-5100-06	H28.4.1 ～ H31.3.31	"	"	米子市米原8-11-49 TKSS 富士綜合養育院共同企業体 (株)TKSS代表取締役	船上山少年自 然の家	"	
公用車	1	パジェロ 三菱LA- V73WLRUVQ	H28.4.1 ～ H31.3.31	"	"	"	"	"	
合計					-				

21 借受不動産明細調べ

(平成31年4月30日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は積面	契約の状況			借受先 住所氏名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 単価		
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-2	26,647	有	S51.5.18~存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長 本課で 契約締結	
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-11	299	有	S51.5.18~存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長 "	
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-4	214	有	H2.4.27~存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川807-2 以西財産区管理者 琴浦町長 "	
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川807-12~14	751	有	H2.4.27~存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町赤碓1142-3 琴浦町 琴浦町長 "	
合計							0		

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅
該当なし

(2) 職員駐車場
管理状況

財産の区分	所在地	1 区画の面積		貸付(使用)料(月額) (円)
		面積 (㎡)	1000	
行政財産	鳥取県西伯郡大山町赤松明間原312番地1	12.5		1000
普通財産				

イ 異動状況
(行政財産)

月別	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
	人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免				
4月	8	1	5	人	2	人	8,000			
5月	10				10	2	8,000			
6月	10				10	2	8,000			
7月	10				10	2	8,000			
8月	10				10	2	8,000			
9月	10				10	2	8,000			
10月	10	1			9	2	7,000			
11月	9				9	2	7,000			
12月	9		1	1	10	3	7,000			
1月	10				10	3	7,000			
2月	10				10	3	7,000			
3月	10				10	3	7,000			
合計							90,000		90,000	0

指定管理者 非常勤職員2名
非常勤職員0.5名
公有財産事務取扱要領 第11-4-4 (通勤手続として勤務先官公署への交通機関が確保できない場合に該当)

23 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

24 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処分		備考	
							売却方法・売却理由	処分年月日		
ハイビジョンソフト	1	平成6年11月2日	2	7,725,000	平成30年8月6日	今後使用する見込みがないため	売却	随意契約	H31.3.15	37,800
ハイビジョンソフト	1	平成7年8月9日	2	1,236,000	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	平成8年6月26日	2	5,150,000	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	平成9年5月23日	2	5,250,000	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	平成10年6月30日	2	4,305,000	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	昭和54年12月26日	5	1,429,800	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	平成5年6月10日	2	309,000	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	平成7年6月13日	2	618,000	平成30年8月6日					
ハイビジョンソフト	1	平成7年6月13日	2	618,000	平成30年8月6日					
補助マット 東洋体器 BF-11	1	昭和54年3月28日	3	100,000	平成31年2月18日					
補助マット 東洋体器 BF-11	1	昭和54年3月28日	3	100,000	平成31年2月18日					
補助マット 東洋体器 BF-11	1	昭和54年3月28日	3	100,000	平成31年2月18日					

25 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
 (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成30年7月12日 ~ 平成30年8月14日	・ 有 ・ 無		

26 貸付金等状況調べ
 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する要望等
 特になし

(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等
 特になし